

平成30年度へき地医療（総合診療Ⅰ）



新温泉町医師と
新温泉で交流会

24日、新温泉町医師と新温泉で交流会が開かれた。大音さんによる、小代や香住、村岡の風景画など約30点を展示。小代の住民が描いた作品もある。入場無料。23日休館21、24、25日は、大音さんも会場にいる予定。

健康への関心を高め、同病院を身近に感じてもらおうと、同病院が狙いで、同シニアハウスが開く。座談会形式で、気軽に意見交換する。

参加無料。事前予約は不要。岡坂さん ☎080・104・18665

- 公立浜坂病院研修中の石川輝先生
- ・ 小学校でAEDの出張授業
 - ・ 医師と地域住民のクロストーク

(25) 2018年(平成30年)6月25日 月曜日

但馬

但馬支社
〒669-5701
美方郡新温泉町声屋145-3
TEL(0796)82-4541
FAX(0796)82-4544

豊岡通信部
〒668-0052
豊岡市九日市下町24-3
ガーデンプライトA201号
TEL(0796)29-2003
FAX(0796)29-2005

【MONDE SELECTION】
モンドセレクション2017
3年連続 金賞受賞
国際高品質賞受賞
荒磯のり 230g

公立村岡病院に着任した医師
村田 信也さん(37)
(香美町村岡区相田)

一緒に生活する医師に
ドクターヘリ経験も

埼玉県のさいたま市民医療センターから派遣された。同センターの副院長が以前、公立村岡病院に勤務していたことが縁。青森県八戸市立市民病院救命救急センターではドクターヘリに乗っていた。「これまでの経験を生かし、地域医療に貢献していきたい」と意欲を見せている。

出身は東京都です。早稲田大を卒業し、いったんは会社員を経験しましたが、なんだか満足感がなく、医師を目指して25歳で徳島大医学部に入り、卒業後八戸市立市民病院で研修し、救命救急センターに所属しました。その後、さいたま市民医療センターに移り、家庭医療研修プログラムに基づいた総合診療医研修の一環として、村岡病院に1年間勤務することになりました。

年齢が上がるにつれて、家庭医療研修から大切な診療や地域に確立して地域と密着しているか

「地域の人と一緒に生活していく医師を目指しており、この経験が必ず生きてくると思います。」

（前掲）




- 公立村岡病院研修中の村田信也先生
- ・ 住民と一緒に生活する
 - ・ 畑の中で診療



小児科

- さいたま市（人口 130万人）の小児救急搬送の約50%が当院へ搬送
- 総合診療医の経験値を上げるための“common disease”が充実
- 食物アレルギー負荷試験では関東を代表する施設！
- 到達目標は二次病院へ搬送すべき症例の判断ができること！



アレルギーの母親教室で講演する西本副部長



救急科（災害医療）

- 救急総合診療科の一員としてERで勤務します。総合診療の主役です。
- 救急総合診療科科長は内科専門医・救急専門医のみならず、脳血管内治療専門医・脳卒中専門医であるので、脳梗塞についてはt-PAから血栓回収、ステント治療まで高度医療を自科で完結します。
- さいたま市で唯一、災害医療のシミュレーション教育である“Disaster ABC”を自施設で実施。さらに希望者は災害医療コーディネーターの研修も受けることができます。

